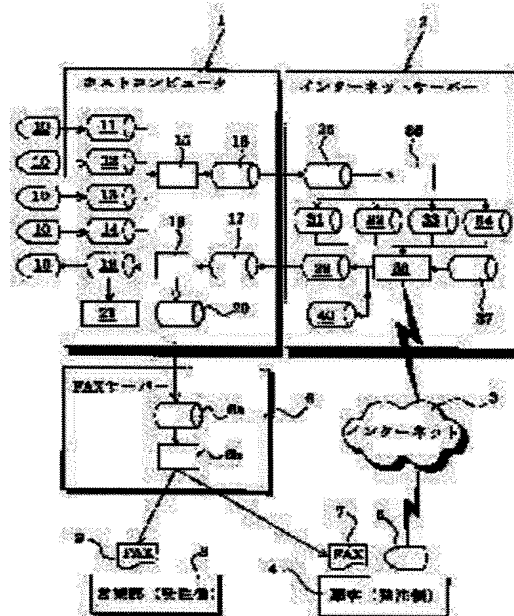


(11)Publication number : 2001-014396  
(43)Date of publication of application : 19.01.2001

(21)Application number : 11-185169 (71)Applicant : TOPPAN FORMS CO LTD  
(22)Date of filing : 30.06.1999 (72)Inventor : MIMURA KENICHIRO

**SOLUTION:** This system is equipped with order-reception-side 1st information processors 1 and 2 which are connected to the Internet 3 through Internet application 38 and ordering-side 2nd information processors 4 and 5 which are information processors belonging to specific customers and connected to the 1st information processors through the Internet. The 1st information processors provide contract article information for individual customers and also provide catalog information on articles for the customers. The 2nd information processors transfer delivery request information on articles selected from contract article information to the 1st information processors and distribute estimate request information on the articles selected from the catalog information to a person in charge of estimation on an order-reception side.



[Date of request for examination]	22.12.2004
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	
[Date of registration]	

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-14396

(P2001-14396A)

(43) 公開日 平成13年1月19日 (2001.1.19)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マコ-ト* (参考)	
G 0 6 F 17/60	3 5 5	G 0 6 F 15/21	3 3 0	5 B 0 4 9
13/00		13/00	3 5 5	5 B 0 7 5
19/00		G 0 7 F 17/40		5 B 0 8 9
17/30		H 0 4 N 1/00	Z	5 C 0 6 2
G 0 7 F 17/40		G 0 6 F 15/21	T	

審査請求 未請求 請求項の数16 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平11-185169

(22) 出願日 平成11年6月30日 (1999.6.30)

(71) 出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 見村 賢一郎

埼玉県富士見市羽沢3-12-33-310

(74) 代理人 100095256

弁理士 山口 孝雄

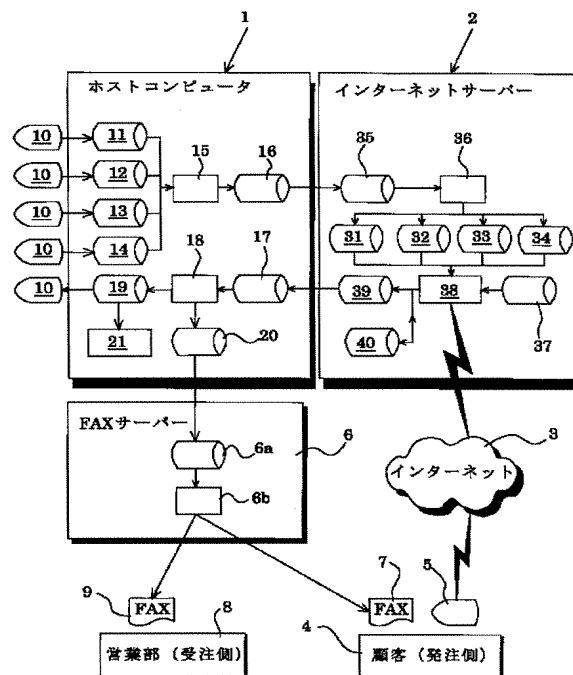
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 特定の顧客を対象とするインターネット受発注システムおよび方法

(57) 【要約】

【課題】 顧客毎に異なる契約商品および契約単価に基づいてその受発注をインターネット上で行うことのできる、特定の顧客を対象とするインターネット受発注システム。

【解決手段】 インターネットアプリケーション (38) を介してインターネット (3) に接続された受注側の第1情報処理装置 (1, 2) と、特定の顧客の各々に属する情報処理装置であって、インターネットを介して第1情報処理装置に対して接続可能に構成された発注側の第2情報処理装置 (4, 5) とを備えている。第1情報処理装置は、契約商品情報を各顧客に対して個別に提供するとともに、商品のカatalog情報を各顧客に提供する。第2情報処理装置は、契約商品情報から選択された商品の納入依頼情報を第1情報処理装置に転送し、且つCatalog情報から選択された商品の見積り依頼情報を受注側の見積り担当者に配信する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定のインターネットアプリケーションを介してインターネットに接続された受注側の第1情報処理装置と、

特定の顧客の各々に属する情報処理装置であって、インターネットを介して前記第1情報処理装置に対して接続可能に構成された発注側の第2情報処理装置とを備え、前記第1情報処理装置は、前記特定の顧客の各々に固有の契約に基づく契約商品情報を各顧客に対して個別に提供するとともに、見積りの対象となる商品のカタログ情報を各顧客に提供し、前記第2情報処理装置は、前記契約商品情報から選択された商品の納入依頼情報を前記第1情報処理装置に転送し、且つ前記カタログ情報から選択された商品の見積り依頼情報を受注側の見積り担当者に配信することを特徴とするインターネット受発注システム。

【請求項2】 前記第1情報処理装置は、各顧客に関する情報を含む基本情報を管理するためのホストコンピュータと、該ホストコンピュータから供給される情報に基づいて前記インターネットアプリケーションの実行を管理するためのインターネットサーバーとを有し、前記インターネットサーバーは、前記第2情報処理装置から転送された前記納入依頼情報を前記ホストコンピュータに供給することを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項3】 前記ホストコンピュータは、各顧客に関する登録情報を含む顧客マスターファイルと、各顧客の納入先に関する登録情報を含む納入先マスターファイルと、各顧客との個別的な契約に基づく契約単価に関する登録情報を含む単価マスターファイルと、見積りの対象となる商品に関する登録情報を含む商品マスターファイルとを有し、前記顧客マスターファイル、前記納入先マスターファイル、前記単価マスターファイルおよび前記商品マスターファイルからデータ抽出した情報を前記インターネットサーバーに定期的に供給することを特徴とする請求項2に記載のシステム。

【請求項4】 前記インターネットサーバーは、各顧客に関する更新情報を含む顧客テーブルと、各顧客の納入先に関する更新情報を含む納入先テーブルと、各顧客との個別的な契約に基づく契約単価に関する更新情報を含む単価テーブルと、見積りの対象となる商品に関する更新情報を含む商品テーブルとを有し、前記ホストコンピュータから供給された情報に基づいて、前記顧客テーブル、前記納入先テーブル、前記単価テーブルおよび前記商品テーブルの内容を定期的に更新することを特徴とする請求項3に記載のシステム。

【請求項5】 前記インターネットサーバーは、前記インターネットアプリケーションを介して前記第2情報処理装置から転送された前記納入依頼情報を顧客毎に蓄積

するための履歴ファイルを有することを特徴とする請求項2乃至4のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項6】 前記インターネットサーバーは、前記履歴ファイルに蓄積されたデータに基づいて作成された履歴情報を各顧客に対して個別に提供することを特徴とする請求項5に記載のシステム。

【請求項7】 前記インターネットサーバーは、各顧客に固有のアクセス識別情報を含む顧客管理ファイルを有し、前記アクセス識別情報に基づいて各顧客のアクセスの正当性を認証することを特徴とする請求項2乃至6のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項8】 前記アクセス識別情報はID番号およびパスワードであることを特徴とする請求項7に記載のシステム。

【請求項9】 前記第1情報処理装置は、前記ホストコンピュータから供給された前記納入依頼情報に対応する確認情報を各顧客および受注側の営業担当者に対してファクシミリ送信するためのファクシミリサーバーを有することを特徴とする請求項2乃至8のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項10】 所定のインターネットアプリケーションを介してインターネットに接続された受注側の第1情報処理装置を用いて、特定の顧客の各々に固有の契約に基づく契約商品情報を各顧客に対して個別に提供するとともに、見積りの対象となる商品のカタログ情報を各顧客に提供する情報提供ステップと、前記特定の顧客の各々に属する情報処理装置であって、インターネットを介して前記第1情報処理装置に対して接続可能に構成された発注側の第2情報処理装置を用いて、前記契約商品情報から選択した商品の納入依頼情報を前記第1情報処理装置に転送する情報転送ステップと、前記第2情報処理装置を用いて、前記カタログ情報から選択した商品の見積り依頼情報を受注側の見積り担当者に配信する情報配信ステップとを含むことを特徴とするインターネット受発注方法。

【請求項11】 前記情報提供ステップは、所定のインターネットアドレスに基づいて前記第1情報処理装置にアクセスした顧客に対して固有のアクセス識別情報の入力を促すためのログオンページを提示するログオンページ提示ステップと、前記ログオンページに入力された前記アクセス識別情報に基づいて前記顧客のアクセスの正当性を認証する認証ステップと、前記認証ステップを介してログオンが許可された顧客に対して、該顧客に固有の契約商品情報が掲載された商品情報ページを提示する商品情報ページ提示ステップと、ログオンが許可された前記顧客に対して、見積りの対象となる商品のカタログ情報が掲載されたカタログ情報ページを選択的に提示するカタログ情報ページ提示ステッ

10

20

30

40

50

プとを含むことを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】 前記情報転送ステップは、前記商品情報ページに掲載された前記契約商品情報から所望の商品を選択する注文商品選択ステップと、前記注文商品選択ステップで選択した商品の所望数量を入力する数量入力ステップとを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】 前記情報配信ステップは、選択的に提示された前記カタログ情報ページに掲載された前記カタログ情報から所望の商品を選択するカタログ商品選択ステップと、前記カタログ商品選択ステップで選択したカタログ商品の見積り依頼数量を入力する見積り依頼数量入力ステップとを含むことを特徴とする請求項 11 または 12 に記載の方法。

【請求項 14】 前記情報転送ステップにおいて転送された前記納入依頼情報を顧客毎に蓄積し、蓄積したデータに基づいて作成した履歴情報を各顧客に対して個別に提供する履歴情報提供ステップをさらに含むことを特徴とする請求項 10 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 15】 前記履歴情報提供ステップは、ログオンが許可された前記顧客に対して、前記履歴情報が掲載された履歴情報ページを選択的に提示する履歴情報ページ提示ステップを含むことを特徴とする請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】 前記情報転送ステップにおいて転送された前記納入依頼情報に対応する確認情報を各顧客および受注側の営業担当者に対してファクシミリ送信するファクシミリ送信ステップをさらに含むことを特徴とする請求項 10 乃至 15 のいずれか 1 項に記載の方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、特定の顧客を対象とするインターネット受発注システムおよび方法に関するものである。

##### 【0002】

【従来の技術】 電子商取引システムの 1 つの形態として、パーソナルコンピュータを用いてインターネット上に開設された所定の会社のホームページに接続し、このホームページに掲載された商品から所望の商品およびその数量を選択することによって商品の注文をインターネット経由で行うシステムが知られている。

##### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 一般に、従来の電子商取引システムは、いわゆる不特定多数の人を対象としているので、不特定多数の人に対して共通の商品情報が提供される。これに対し、特定の顧客（すなわち得意先）との間に各顧客に固有の商品取引契約を結び、顧客毎に異なる契約商品および契約単価に基づいて商品の受発注

を行っている場合がある。このような特定の顧客だけを対象とした電子商取引システムに関する提案はほとんどなされていない。

【0004】 本発明は、前述の課題に鑑みてなされたものであり、顧客毎に異なる契約商品および契約単価に基づいてその受発注をインターネット上で行うことのできる、特定の顧客を対象とするインターネット受発注システムおよび方法を提供することを目的とする。

##### 【0005】

【課題を解決するための手段】 前記課題を解決するために、本発明の第 1 発明では、所定のインターネットアプリケーションを介してインターネットに接続された受注側の第 1 情報処理装置と、特定の顧客の各々に属する情報処理装置であって、インターネットを介して前記第 1 情報処理装置に対して接続可能に構成された発注側の第 2 情報処理装置とを備え、前記第 1 情報処理装置は、前記特定の顧客の各々に固有の契約に基づく契約商品情報を各顧客に対して個別に提供するとともに、見積りの対象となる商品のカタログ情報を各顧客に提供し、前記第 2 情報処理装置は、前記契約商品情報から選択された商品の納入依頼情報を前記第 1 情報処理装置に転送し、且つ前記カタログ情報から選択された商品の見積り依頼情報を受注側の見積り担当者に配信することを特徴とするインターネット受発注システムを提供する。

【0006】 第 1 発明の好ましい態様によれば、前記第 1 情報処理装置は、各顧客に関する情報を含む基本情報を管理するためのホストコンピュータと、該ホストコンピュータから供給される情報に基づいて前記インターネットアプリケーションの実行を管理するためのインターネットサーバーとを有し、前記インターネットサーバーは、前記第 2 情報処理装置から転送された前記納入依頼情報を前記ホストコンピュータに供給することが好ましい。

【0007】 また、第 1 発明の好ましい態様によれば、前記ホストコンピュータは、各顧客に関する登録情報を含む顧客マスターファイルと、各顧客の納入先に関する登録情報を含む納入先マスターファイルと、各顧客との個別的な契約に基づく契約単価に関する登録情報を含む単価マスターファイルと、見積りの対象となる商品に関する登録情報を含む商品マスターファイルとを有し、前記顧客マスターファイル、前記納入先マスターファイル、前記単価マスターファイルおよび前記商品マスターファイルからデータ抽出した情報を前記インターネットサーバーに定期的に供給することが好ましい。一方、前記インターネットサーバーは、各顧客に関する更新情報を含む顧客テーブルと、各顧客の納入先に関する更新情報を含む納入先テーブルと、各顧客との個別的な契約に基づく契約単価に関する更新情報を含む単価テーブルと、見積りの対象となる商品に関する更新情報を含む商品テーブルとを有し、前記ホストコンピュータから供給

された情報に基づいて、前記顧客テーブル、前記納入先テーブル、前記単価テーブルおよび前記商品テーブルの内容を定期的に更新することが好ましい。

【0008】さらに、第1発明の好ましい態様によれば、前記インターネットサーバーは、前記インターネットアプリケーションを介して前記第2情報処理装置から転送された前記納入依頼情報を顧客毎に蓄積するための履歴ファイルを有することが好ましい。この場合、前記インターネットサーバーは、前記履歴ファイルに蓄積されたデータに基づいて作成された履歴情報を各顧客に対して個別に提供することが好ましい。また、第1発明の好ましい態様によれば、前記インターネットサーバーは、各顧客に固有のアクセス識別情報を含む顧客管理ファイルを有し、前記アクセス識別情報に基づいて各顧客のアクセスの正当性を認証することが好ましい。この場合、前記アクセス識別情報はID番号およびパスワードであることが好ましい。

【0009】また、第1発明の好ましい態様によれば、前記第1情報処理装置は、前記ホストコンピュータから供給された前記納入依頼情報に対応する確認情報を各顧客および受注側の営業担当者に対してファクシミリ送信するためのファクシミリサーバーを有することが好ましい。

【0010】また、本発明の第2発明では、所定のインターネットアプリケーションを介してインターネットに接続された受注側の第1情報処理装置を用いて、特定の顧客の各々に固有の契約に基づく契約商品情報を各顧客に対して個別に提供するとともに、見積りの対象となる商品のカタログ情報を各顧客に提供する情報提供ステップと、前記特定の顧客の各々に属する情報処理装置であって、インターネットを介して前記第1情報処理装置に対して接続可能に構成された発注側の第2情報処理装置を用いて、前記契約商品情報から選択した商品の納入依頼情報を前記第1情報処理装置に転送する情報転送ステップと、前記第2情報処理装置を用いて、前記カタログ情報から選択した商品の見積り依頼情報を受注側の見積り担当者に配信する情報配信ステップとを含むことを特徴とするインターネット受発注方法を提供する。

【0011】第2発明の好ましい態様によれば、前記情報提供ステップは、所定のインターネットアドレスに基づいて前記第1情報処理装置にアクセスした顧客に対して固有のアクセス識別情報の入力を促すためのログオンページを提示するログオンページ提示ステップと、前記ログオンページに入力された前記アクセス識別情報に基づいて前記顧客のアクセスの正当性を認証する認証ステップと、前記認証ステップを介してログオンが許可された顧客に対して、該顧客に固有の契約商品情報が掲載された商品情報ページを提示する商品情報ページ提示ステップと、ログオンが許可された前記顧客に対して、見積りの対象となる商品のカタログ情報が掲載されたカタロ

グ情報ページを選択的に提示するカタログ情報ページ提示ステップとを含むことが好ましい。

【0012】この場合、前記情報転送ステップは、前記商品情報ページに掲載された前記契約商品情報から所望の商品を選択する注文商品選択ステップと、前記注文商品選択ステップで選択した商品の所望数量を入力する数量入力ステップとを含むことが好ましい。また、前記情報配信ステップは、選択的に提示された前記カタログ情報ページに掲載された前記カタログ情報から所望の商品を選択するカタログ商品選択ステップと、前記カタログ商品選択ステップで選択したカタログ商品の見積り依頼数量を入力する見積り依頼数量入力ステップとを含むことが好ましい。

【0013】また、第2発明の好ましい態様によれば、前記情報転送ステップにおいて転送された前記納入依頼情報を顧客毎に蓄積し、蓄積したデータに基づいて作成した履歴情報を各顧客に対して個別に提供する履歴情報提供ステップをさらに含むことが好ましい。この場合、前記履歴情報提供ステップは、ログオンが許可された前記顧客に対して、前記履歴情報が掲載された履歴情報ページを選択的に提示する履歴情報ページ提示ステップを含むことが好ましい。さらに、前記情報転送ステップにおいて転送された前記納入依頼情報に対応する確認情報を各顧客および受注側の営業担当者に対してファクシミリ送信するファクシミリ送信ステップをさらに含むことが好ましい。

【0014】

【発明の実施の形態】本発明において、受注側の会社は、所定のインターネットアプリケーションを介してインターネットに接続されたインターネットサーバーを用いて、特定の顧客の各々に固有の契約に基づく契約商品情報を各顧客に対して個別に提供する。一方、発注側の顧客は、インターネットを介してインターネットサーバーに対して接続可能に構成された端末コンピュータを用いて、インターネット経由で提供された契約商品情報から選択した商品の納入依頼情報をインターネットサーバーに転送する。こうして、本発明のインターネット受発注システムおよび方法では、顧客毎に異なる契約商品および契約単価に基づいてその受発注をインターネット上で行うことができる。

【0015】また、本発明では、顧客が契約商品以外の商品についてインターネット受発注を望む場合に備えて、受注側が見積りの対象となる商品のカタログ情報を各顧客に選択的に提供する。これに対して、顧客は、インターネット経由で提供されたカタログ情報から選択した商品の見積り依頼情報を、たとえばインターネットメールにより受注側の見積り担当者（すなわち見積り専任の担当者や営業担当者など見積りに携わる担当者）に配信する。見積り依頼を受けた見積り担当者は、見積り依頼情報を検討した後に、見積り書を顧客に提示すること

になる。見積書の内容について両者の合意が得られ、新たな商品について商品取引契約が成立すると、その新契約にかかる商品についても、既契約にかかる商品と同様のプロセスにしたがってインターネット受発注を行うことができる。

【0016】本発明の実施例を、添付図面に基づいて説明する。図1は、本発明の実施例にかかるインターネット受発注システムの構成を概略的に示す図である。また、図2は、図1のホストコンピュータの内部構成を概略的に示す拡大図である。さらに、図3は、図1のインターネットサーバーの内部構成を概略的に示す拡大図である。図1に示す本実施例のシステムは、商品取引契約がすでに締結されている特定の顧客（すなわち得意先）に関する各種の登録情報を含む基本情報を管理するためのホストコンピュータ1を備えている。

【0017】また、図示のシステムは、ホストコンピュータ1から供給される情報に基づいてインターネットアプリケーション38の実行を管理するためのインターネットサーバー（すなわちWWWサーバー）2を備えている。すなわち、インターネットサーバー2は、インターネットアプリケーション38を介して、インターネット3に接続されている。さらに、図示のシステムは、インターネット3を介してインターネットサーバー2に対して接続可能に構成された発注側の端末コンピュータ4を備えている。すなわち、端末コンピュータ4は、各顧客に属する情報処理装置である。

【0018】ここで、図2を参照すると、ホストコンピュータ1は、各顧客に関する登録情報を含む顧客マスターファイル11と、各顧客の納入先に関する登録情報を含む納入先マスターファイル12と、各顧客との個別契約に基づく契約単価に関する登録情報を含む単価マスターファイル13と、見積りの対象となる商品に関する登録情報を含む商品マスターファイル14とを備えている。具体的には、顧客マスターファイル11は、各顧客の名称（法人名など）、顧客コード、住所、電話番号、ファクシミリ番号、担当者名、取引口座などの各種情報を含んでいる。また、納入先マスターファイル12は、各顧客の納入先（1つの顧客に対して1つまたは複数）の名称、納入先コード、住所、電話番号、ファクシミリ番号、担当者名などの各種情報を含んでいる。

【0019】さらに、単価マスターファイル13は、各顧客と個別に締結された商品取引契約に基づく契約商品の名称、商品コード、契約単価などの各種情報を含んでいる。また、商品マスターファイル14は、見積りの対象となる商品の名称、商品コード、商品特性、製造元などの各種情報を含んでいる。以上のように、顧客マスターファイル11、納入先マスターファイル12および単価マスターファイル13は、顧客毎に個別に登録される情報、すなわち各顧客に固有の情報を含んでいる。一方、商品マスターファイル14は、顧客との個別的な

契約には関わりなく、システムに固有の情報を含んでいる。

【0020】したがって、顧客マスターファイル11、納入先マスターファイル12および単価マスターファイル13への情報の新規登録および登録情報の更新は、ホストコンピュータ1に接続された情報入力表示手段（すなわちキーボードやモニター画面など）10を介して、新規契約および契約変更などに際して随時行われる。また、商品マスターファイル14への情報の新規登録および登録情報の更新も、ホストコンピュータ1に接続された情報入力手段10を介して、システムの変更などに際して適時行われる。ホストコンピュータ1では、各マスターファイル11～14に対して所定のデータ抽出処理15を施すことにより、定期的に（たとえば夜間に1日1回程度）送信ファイル16を作成する。送信ファイル16の内容は、同じく定期的にインターネットサーバー2に転送される。

【0021】ここで、図3を参照すると、インターネットサーバー2は、各顧客に関する更新情報を含む顧客テーブル31と、各顧客の納入先に関する更新情報を含む納入先テーブル32と、各顧客との個別契約に基づく契約単価に関する更新情報を含む単価テーブル33と、見積りの対象となる商品に関する更新情報を含む商品テーブル34とを備えている。すなわち、顧客テーブル31、納入先テーブル32、単価テーブル33および商品テーブル34は、ホストコンピュータ1における顧客マスターファイル11、納入先マスターファイル12、単価マスターファイル13および商品マスターファイル14にそれぞれ対応する情報フィールドを備えている。

【0022】インターネットサーバー2では、ホストコンピュータ1から定期的に転送される上述の情報に基づいて、受信ファイル35を作成する。そして、作成した受信ファイル35の内容を参照することにより、顧客テーブル31、納入先テーブル32、単価テーブル33および商品テーブル34に対して情報の更新処理36を定期的（たとえば夜間に1日1回程度）に施す。また、インターネットサーバー2は、各顧客に固有のアクセス識別情報を含む顧客管理テーブル37を備えている。アクセス識別情報は、各顧客の端末コンピュータ4のインターネットサーバー2へのアクセスの正当性を認証するのに必要な情報であって、たとえばID番号およびパスワードである。

【0023】さらに、インターネットサーバー2は、各顧客に固有の契約商品情報などをインターネット経由で各顧客に対して個別に提供するためのインターネットアプリケーション38を備えている。このインターネットアプリケーション38の実行に際しては、各テーブル31～34および37の内容が参照される。ここで、再び図1を参照すると、上述したように、インターネットサ

ーバー2は、インターネットアプリケーション38を介して、インターネット3に接続されている。一方、各顧客の端末コンピュータ4は、インターネット3を介してインターネットサーバー2に接続可能に構成されている。

【0024】したがって、端末コンピュータ4がインターネット3に接続された状態において、端末コンピュータ4のユーザーが所定のインターネットアドレスを指定することにより、インターネットサーバー2がインターネットアプリケーション38を介してインターネット3上に開設しているページにアクセスすることができる。換言すると、インターネットサーバー2と端末コンピュータ4とが、インターネット3を介して接続される。その結果、端末コンピュータ4のモニター画面5では、インターネットサーバー2が提供する契約商品情報などを、所定のブラウザを用いて閲覧することができる。

【0025】端末コンピュータ4では、ユーザーが契約商品情報を参照しながら納入を希望する商品およびその数量などを入力する。こうして、契約商品情報から選択された商品の納入依頼情報がインターネット3経由で、インターネットサーバー2に転送される。ここで、再び図3を参照すると、インターネットサーバー2は、転送された納入依頼情報に基づいて、送信ファイル39を作成する。送信ファイル39の内容は、ホストコンピュータ1に転送される。また、インターネットサーバー2は、転送された納入依頼情報を顧客毎に蓄積するための履歴ファイル40を備えている。なお、インターネットアプリケーション38の実行に際しては、各テーブル31～34および37の内容に加えて、履歴ファイル40の内容も参照される。

【0026】ここで、再び図2を参照すると、ホストコンピュータ1では、インターネットサーバー2から転送された情報に基づいて、受信ファイル17を作成する。そして、作成した受信ファイル17の内容に所定の納入依頼登録処理18を施すことにより、納入依頼マスターファイル19に対して納入依頼の情報を新規登録するとともに、送信ファイル20を作成する。納入依頼マスターファイル19は、納入依頼にかかる顧客の名称、顧客コード、納入先の名称、納入先コード、商品の名称、商品コード、数量、希望納入日、担当者名などの各種情報を含んでいる。したがって、納入依頼マスターファイル19の内容を参照することにより、ホストコンピュータ1に接続された情報入力表示手段10などを介して、納入依頼情報の検索を行うことができる。また、納入依頼マスターファイル19の内容は、物流システム21へ供給される。

【0027】再び図1を参照すると、本実施例のシステムは、ホストコンピュータ1から供給された納入依頼情報に対応する確認情報を各顧客および受注側の営業担当者に対してファクシミリ送信するためのファクシミリサ

ーバー6を備えている。ファクシミリサーバー6では、ホストコンピュータ1から転送された情報に基づいて、受信ファイル6aを作成する。そして、作成した受信ファイル6aの内容に対してファクシミリ出力処理6bを施すことにより、各顧客のファクシミリ送受信装置7および受注側営業部8のファクシミリ送受信装置9に対して、インターネット3を介して行われた納入依頼に関する確認情報をファクシミリ送信する。

【0028】以下、上述の構成を有するシステムを用いた本実施例のインターネット受発注方法について詳述する。図4は、本実施例にかかるインターネット受発注方法のプロセスの一部を示すフローチャートである。本実施例では、顧客の端末コンピュータ4のユーザーが、モニター5のブラウザ画面において、所定のインターネットアドレス（URLアドレス）を入力する（S101）。その結果、端末コンピュータ4とインターネットサーバー2とがインターネット3を介して接続され、モニター5のブラウザ画面にはログオンページが提示される（S102）。

【0029】ログオンページは、図5に示すようにユーザーに対してID番号およびパスワードの入力を促すページであり、ID番号の入力欄51とパスワードの入力欄52とを備えている。また、ログオンページには、ログオンボタン53が設けられている。ユーザーは、各顧客に固有のID番号およびパスワードを入力し（S103）、ログオンボタン53をクリック選択する。インターネットサーバー2は、顧客管理テーブル37に登録管理された各顧客のアクセス識別情報を参照し、ユーザーが入力したID番号およびパスワードの正当性を、ひいてはアクセスの正当性を認証する（S104）。アクセスが認証された場合、ユーザーにはログオンが許可され、次のメインメニューページが提示される（S105）。一方、アクセスが認証されなかった場合、ユーザーには入力データが正しくないことを示すメッセージが提示され（S106）、ID番号およびパスワードの再入力促される。

【0030】メインメニューページは、図6に示すようにユーザーに対してメニューの選択を促すページであり、ニュースボタン61、注文受付ボタン62、商品カタログボタン63を含む各種のメニューボタンを備えている。また、メインメニューページには、ログアウトボタン64が設けられている。ユーザーは、各種のメニューボタンの中から所望のメニューボタンをクリック選択する（S107）。図7は、ユーザーが注文受付ボタンを選択した場合のプロセスを示すフローチャートである。ユーザーが注文受付ボタン62を選択した場合、モニター5のブラウザ画面には納入先選択ページが提示される（S201）。

【0031】納入先選択ページは、図8に示すようにユーザーに対して納入先の選択を促すページであり、当該



顧客に固有の納入先の一覧データ81と、各納入先をそれぞれ選択するための納入先選択ボタン82とを備えている。納入先一覧データ81には、納入先の名称、納入先コード、担当者、住所、電話番号などの各種情報が掲載されている。また、納入先選択ページには、利用履歴閲覧ボタン83が設けられている。利用履歴閲覧ボタン83をクリック選択することにより、当該ユーザーの過去の取引実績、すなわち納入依頼情報の蓄積データを随時閲覧することができる。このとき、インターネットアプリケーション38の実行に際して履歴ファイル40の内容が参照される。

【0032】ユーザーは、複数の選択ボタン82のうちの1つをクリック選択することにより、所望の納入先を選択する(S202)。その結果、端末コンピュータ4のモニター5のブラウザ画面には、商品選択ページが提示される(S203)。なお、たとえばグループ企業において当該ユーザーが複数の会社について発注を行う権限を有するような場合、納入先選択ページに先立って会社名選択ページを提示するように構成することもできる。いずれにしても、注文受付ボタン62を選択した後に提示される各ページは、各顧客に固有の契約に基づく各種情報が掲載された専用ページである。

【0033】商品選択ページは、図9に示すようにユーザーに対して商品の選択を促すページであり、当該顧客との間で商品取引契約が締結された(単価などが契約により定められた)商品の一覧データ91と、各商品をそれぞれ選択するための選択ボタン92とを備えている。商品一覧データ91の各欄には、商品の名称、商品コード、商品特性、製造元、注文単位数量、単価などの各種情報が掲載されている。また、商品選択ページにも、利用履歴閲覧ボタン93が設けられている。ユーザーは、複数の商品選択ボタン92のうちの1つをクリック選択することにより、所望の商品を選択する(S204)。その結果、端末コンピュータ4のモニター5のブラウザ画面には、数量入力ページが提示される(S205)。

【0034】数量入力ページは、図10に示すようにユーザーに対して商品の数量の入力を促すページであり、商品選択ページで選択した商品の所望数量を入力するための入力欄101と、希望出荷日の入力欄102と、返信用ファクシミリ番号の入力欄103とを備えている。希望出荷日の入力欄102には、標準的な出荷日が予め入力された形で提示されるが、ユーザーはこの標準的な出荷日以降の希望出荷日を改めて入力することもできる。また、返信用ファクシミリ番号の入力欄103には、顧客テーブル31に登録されたファクシミリ番号が予め入力された形で提示されるが、ユーザーはこの番号を必要に応じて変更することもできる。

【0035】さらに、数量入力ページには、数量を入力した後に注文を確認するための注文ボタン104と、数量を入力した後に注文を取り消すための注文取消ボタン

105とが設けられている。ユーザーが数量入力欄101に所望数量を入力(S206)して注文ボタン104をクリック選択すると、端末コンピュータ4のモニター5のブラウザ画面には注文最終確認ページが提示される(S207)。また、注文取消ボタン105をクリック選択すると、端末コンピュータ4のモニター5のブラウザ画面には商品選択ページが再提示される。なお、数量入力ページで数量を入力した後に商品選択ページに選択的に戻ることができるように構成することもできる。

【0036】注文最終確認ページは、図11に示すようにユーザーに対して商品の注文の最終確認を促すページであり、注文商品の一覧データ111と、各注文商品の削除ボタン112とを備えている。注文商品一覧データ111は、注文商品の名称、商品コード、数量、顧客名、納入先、返信用ファクシミリ番号、出荷日などの各種情報を含んでいる。また、注文最終確認ページには、商品選択ページに戻るための戻るボタン113と、注文商品一覧データ111に掲載された注文の最終確認をするための最終確認ボタン114とが設けられている。

【0037】さらに別の商品について注文を繰り返したい場合、ユーザーは戻るボタン113をクリック選択し、再び商品選択ページに戻る。また、注文商品一覧データ111の情報を参照し、選択ミスや入力ミスがあった場合には、その注文商品について削除ボタン112をクリック選択して注文商品一覧データ111から当該注文商品に係る情報を削除した後に、戻るボタン113をクリック選択して商品選択ページに戻る。一方、注文商品一覧データ111の情報を参照し、所望の注文が正確になされていることを確認した場合、最終確認ボタン114をクリック選択して注文の最終確認を行う。

【0038】最終確認ボタン114を選択すると(S208)、ユーザーには図6に示すメインメニューページが再び提示される(S209)。所望の注文操作が終了した場合、ユーザーはログアウトボタン64を選択して、インターネットアプリケーションからログアウトする。一方、商品選択ページに提示される商品以外の商品について、すなわち未だ商品取引契約を交わしていない商品についてインターネット発注を希望する場合、ユーザーはメインメニューページにおいて商品カタログボタン63をクリック選択し、所望の商品についての見積り依頼を行うことができる。

【0039】図12は、ユーザーが商品カタログボタンを選択した場合のプロセスを示すフローチャートである。ユーザーが商品カタログボタン63を選択した場合、モニター5のブラウザ画面にはカタログ商品種別選択ページが提示される(S301)。カタログ商品種別選択ページは、図13に示すように商品の種別を選択するための複数のメニューバー131を備えている。ユーザーは、複数のメニューバー131の中から、見積り依頼を希望する商品種別に関連するメニューバーを選択す

10

20

30

40

50

る（S302）。ユーザーがメニューバー（たとえばC D-Rのメニューバー131a）を選択すると、端末コンピュータ4のモニター5のブラウザ画面にはカタログ商品情報ページが提示される（S303）。

【0040】カタログ商品情報ページは、図14に示すようにカタログ商品種別選択ページにおいて選択された商品種別（すなわちC D-R）に属する様々な商品の画像情報を提示する画像情報提示欄141と、様々な商品の文字情報を提示する文字情報提示欄142とを備えている。文字情報提示欄142には、商品の名称、商品コード、製造元、商品特性、注文単位数量などが提示されている。また、カタログ商品情報ページには、見積り依頼ページに進むための見積り依頼ボタン143が設けられている。ユーザーは、画像情報提示欄141および文字情報提示欄142を参照して見積り依頼すべき商品の情報を得た後に、見積り依頼ボタン143をクリック選択する（S304）。こうして、端末コンピュータ4のモニター5のブラウザ画面には、見積り依頼申込みページが提示される（S305）。

【0041】見積り依頼申込みページは、図15に示すように見積り依頼者（すなわち顧客）に関連する情報を入力するための情報入力欄151と、見積り依頼のコメントを入力するためのコメント入力欄152とを備えている。情報入力欄151には、顧客に関する登録情報およびカタログ商品情報ページで選択された商品情報などが予め入力された形で提示されるが、ユーザーはこれらの情報を必要に応じて変更することができる。また、コメント入力欄152には、見積りを希望する商品を特定するための情報（たとえばカタログ商品情報ページで参照した商品コード）およびその数量を入力する（S306）。

【0042】また、見積り依頼申込みページには、情報入力欄151およびコメント入力欄152に入力された情報を受注側の見積り担当者にインターネットメール送信するための送信ボタン153と、メインメニューページに戻るための戻るボタン154とが設けられている。したがって、ユーザーがコメント入力欄152に所定の情報を入力（S306）した後に送信ボタン153をクリック選択（S307）すると、見積り依頼情報が受注側の見積り担当者にインターネットメール送信される。こうして、見積り依頼の操作が完了したユーザーは、戻るボタン154をクリック選択して（S308）、メインメニューページに戻る（S309）。メインメニューページに戻ったユーザーは、ログアウトボタン64を選択することにより、インターネットアプリケーションからログアウトすることができる。

【0043】インターネットメールにより見積り依頼を受けた見積り担当者は、見積り依頼情報を検討した後に、見積書を顧客に提示することになる。見積書の内容について両者の合意が得られ、新たな商品について商品

取引契約が成立すると、その契約にかかる情報がホストコンピュータ1の単価マスターファイル23およびインターネットサーバー2の単価テーブル33に新規登録される。こうして、インターネット上で新たに見積り依頼を行った商品についても、すなわち新契約にかかる商品についても、既契約にかかる商品と同様のプロセスにしたがってインターネット受発注を行うことができる。

【0044】前述したように、インターネットアプリケーション38を介してインターネットサーバー2に転送された納入依頼情報は、ホストコンピュータ1を介してファクシミリサーバー6に供給される。そして、ファクシミリサーバー6は、各顧客のファクシミリ送受信装置7および受注側営業部8のファクシミリ送受信装置9に対して、インターネット3を介して行われた納入依頼に関する確認情報をファクシミリ送信する。こうして、各顧客は、インターネット3を介して行った発注に関する情報をファクシミリ書面で確認することができる。また、受注側の営業担当者は、自分が介在していない電子商取引、すなわちインターネット3を介して行われた受注に関する情報をファクシミリ書面で確認することができる。

【0045】なお、上述の実施例では、インターネット経由で提供されたカタログ情報から選択した商品の見積り依頼情報をインターネットメールにより受注側の見積り担当者に配信している。しかしながら、ファクシミリなどの他の適当な通信手段を介して、見積り依頼情報を受注側の見積り担当者に配信することができることはいうまでもない。また、上述の実施例では、商品を対象とした取引について説明したが、役務（サービス）を対象とした取引についても本発明を適用することができる。したがって、本発明において「商品」とは、いわゆる商品と役務とを包含する広い概念を意味するものとする。

【0046】

【発明の効果】以上説明したように、本発明では、受注側の会社が、所定のインターネットアプリケーションを介してインターネットに接続されたインターネットサーバーを用いて、特定の顧客の各々に固有の契約に基づく契約商品情報を各顧客に対して個別に提供する。一方、発注側の顧客は、インターネットを介してインターネットサーバーに対して接続可能に構成された端末コンピュータを用いて、インターネット経由で提供された契約商品情報から選択した商品の納入依頼情報をインターネットサーバーに転送する。こうして、本発明のインターネット受発注システムおよび方法では、顧客毎に異なる契約商品および契約単価に基づいてその受発注をインターネット上で行うことができる。

【0047】また、本発明では、顧客が契約商品以外の商品についてインターネット受発注を望む場合に備えて、受注側が見積りの対象となる商品のカタログ情報を各顧客に提供する。これに対して、顧客は、インターネ

10

20

30

40

50

ット経由で提供されたカタログ情報から選択した商品の見積り依頼情報を、たとえばインターネットメールにより受注側の見積り担当者に配信する。見積り依頼を受けた見積り担当者は、見積り依頼情報を検討した後に、見積書を顧客に提示することになる。見積書の内容について両者の合意が得られ、新たな商品について商品取引契約が成立すると、その新契約にかかる商品についても、既契約にかかる商品と同様のプロセスにしたがってインターネット受発注を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例にかかるインターネット受発注システムの構成を概略的に示す図である。

【図2】図1のホストコンピュータの内部構成を概略的に示す拡大図である。

【図3】図1のインターネットサーバーの内部構成を概略的に示す拡大図である。

【図4】本実施例にかかるインターネット受発注方法のプロセスの一部を示すフローチャートである。

【図5】ログオンページの構成を概略的に示す図である。

【図6】メインメニューページの構成を概略的に示す図である。

【図7】ユーザーが注文受付ボタンを選択した場合のプロセスを示すフローチャートである。

【図8】納入先選択ページの構成を概略的に示す図であ\*

＊る。

【図9】商品選択ページの構成を概略的に示す図である。

【図10】数量入力ページの構成を概略的に示す図である。

【図11】注文最終確認ページの構成を概略的に示す図である。

【図12】ユーザーが商品カタログボタンを選択した場合のプロセスを示すフローチャートである。

10 【図13】カタログ商品種別選択ページの構成を概略的に示す図である。

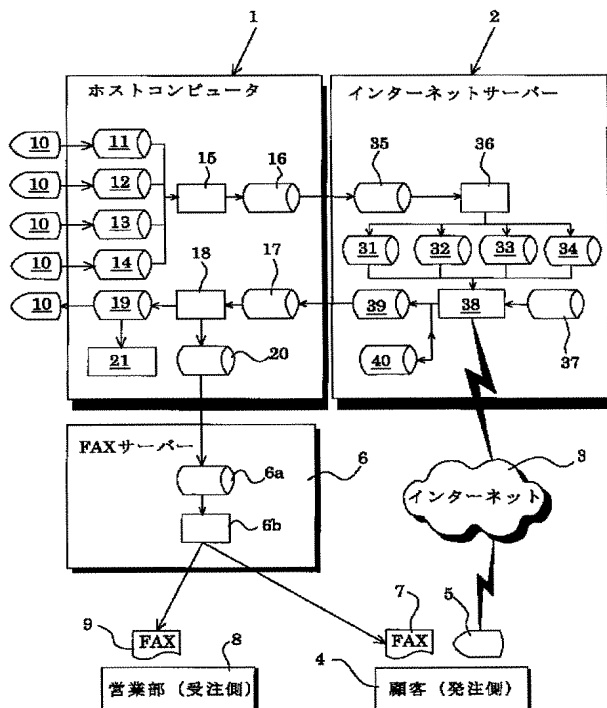
【図14】カタログ商品選択ページの構成を概略的に示す図である。

【図15】見積り依頼申込みページの構成を概略的に示す図である。

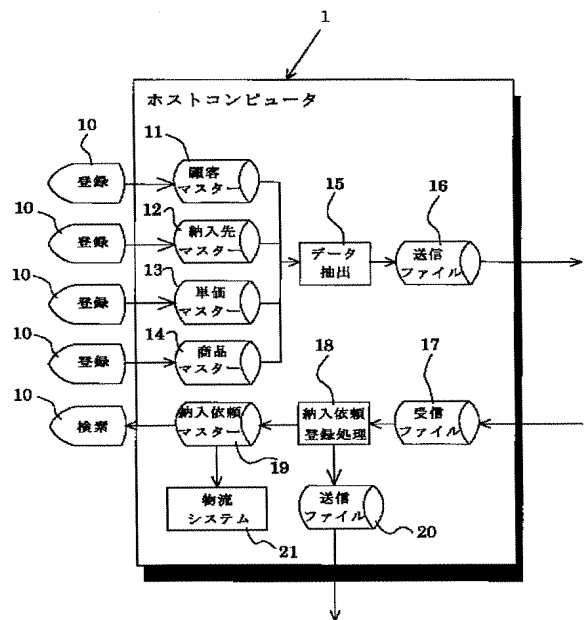
【符号の説明】

- 1 ホストコンピュータ
- 2 インターネットサーバー
- 3 インターネット
- 4 顧客側の端末コンピュータ
- 5 モニター
- 6 ファクシミリサーバー
- 7、9 ファクシミリ送受信装置
- 38 インターネットアプリケーション

【図1】

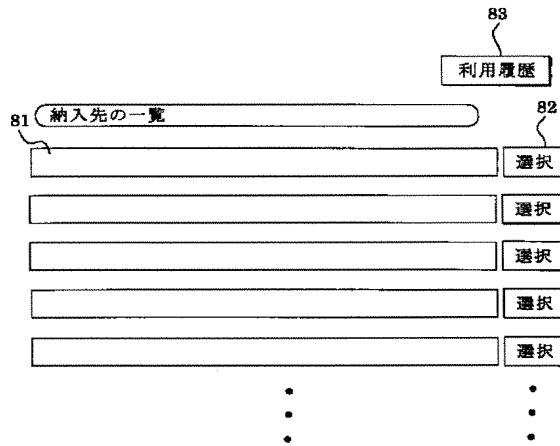


【図2】

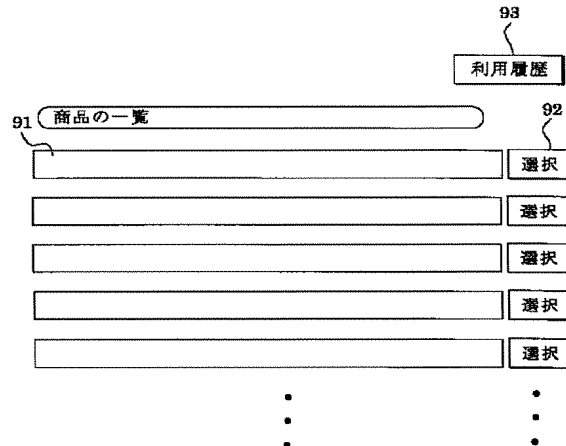




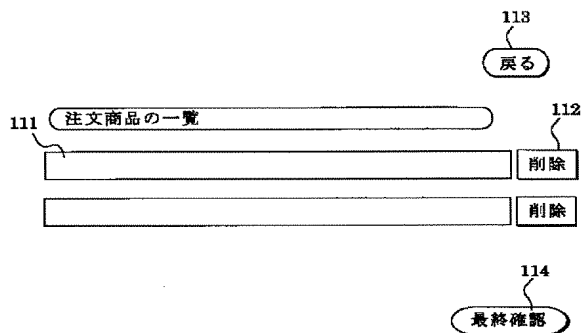
【図8】



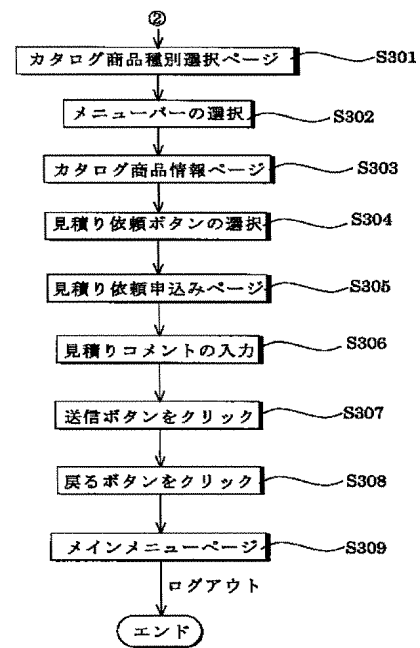
【図9】



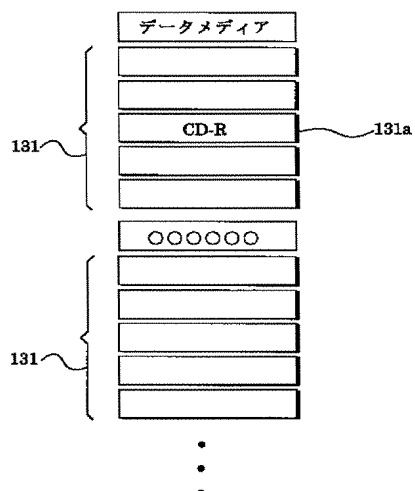
【図11】



【図12】



【図13】



【図14】

Figure 14 shows a web form for requesting an estimate. It features a header bar with the text "CD-R". Below the header is a large rectangular area labeled 141, which is currently empty. At the bottom of the form is a table with 5 columns and 4 rows, labeled 142. A label 143 points to the title "見積り依頼" (Estimate Request) located at the top of the form.

【図15】

Figure 15 shows a web form for requesting an estimate. It includes a header bar with the text "見積り依頼". Below the header are several input fields: "お名前:" (Name), "ご所属:" (Affiliation), "TEL:" (Telephone), "FAX:" (Facsimile), and "見積り対象:" (Estimate Target). There is a "戻る" (Back) button labeled 154 and a "見積り依頼送信" (Send Estimate Request) button labeled 153. A large empty rectangular area labeled 152 is for comments. A bracket labeled 151 groups the "TEL" and "FAX" fields.

フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

H 0 4 N 1/00

識別記号

F I

G 0 6 F 15/24

15/40

テーマコード\* (参考)

3 1 0 F

3 7 0 Z

F ターム(参考) 5B049 AA01 AA02 BB11 CC03 CC05  
 CC11 DD01 EE23 FF03 GG02  
 GG04 GG07  
 5B075 KK07 KK38 KK43 KK54 KK63  
 ND06 PP03 PP13 PQ02 UU38  
 5B089 GA01 GA11 GA15 HA10 JA08  
 JB22 KA04 KB06 KC15 KC30  
 KC58 MC03  
 5C062 AA13 AA29 AB42 AC51 AF00  
 AF02 AF08 AF12 BD06